

# 1村1自然エネルギー プロジェクト



平成27年3月26日

団体名 茅野エネルギーパーク推進協議会  
(幹事) 株式会社地域エネルギーイニシアティブ  
職 氏名 代表取締役 山本 永印



茅野エネルギーパーク推進協議会は、信州の自然エネルギー資源を活かした「1村1自然エネルギープロジェクト」を以下のとおり推進しています。

区 分	摘 要
取組の名称	森林バイオマス活用事業
取組の主体	茅野エネルギーパーク推進協議会
取組の区域	茅野市玉川
取組の構成 団体名 (複数の者で構成 する場合)	地域エネルギーイニシアティブ 農村更生協会 茅野市 (環境未来都市研究会)
団体設立年 月日	平成26年1月30日
普及する自 然エネルギー の種別等	木質バイオマス (熱利用)
取組の目的	茅野市内(または長野県としても)、森林バイオマス資源が豊富に存在しているが、林業の疲弊、カラマツの利活用、搬出技術の未導入、山林所有者の理解不足等から、搬出間伐やその後の主伐についての計画が進んでいない。 本提案は、公益財団法人農村更生協会(ハケ岳中央農業実践大学校)が所有する100haの森林をモデルに、森林バイオマスの活用方策を明らかにするため、 1 熱利用可能性調査及び熱供給計画の策定 2 森林バイオマス熱源プラントの設計 上記2つの視点から検討を行い、長野県に多く存在するカラマツの活用を軸にした、森林管理、バイオマス活用による熱供給事業を構築することを目的とする。
地域関係者 との協働の 内容	※有の場合は、連携内容について記載
プロジェク トの部門	①地域づくり、②ソーシャルビジネス、③開発研究、④その他(場作りなど)※ 該当する箇所に○をしてください。
取組(事業) の段階	①構想段階 ②実施段階 ③発展段階 ※該当する箇所に○をしてください。

別紙

取組の内容	茅野市			
	豊富な森林バイオマス 面積:2万ヘクタール 年平均間伐量:6,365トン		森林バイオマスの活用状況 ペレットストーブ:23施設(主に小中学校) 冬季小中学校使用:ペレット2,620kg	
	潜在森林バイオマス利活用方策 潜在する森林の利活用を通して林業の活性及び山林の健全化			
	※熱源プラントの調査・検討 利活用を図るための調査及び検討		農業施設等への熱供給 (モデル事業:八ヶ岳中央農業実践大学校内) 利用可能施設への熱供給(チップ等)	
※熱源利用施設の調査・検討 熱源プラントから排出される熱の利用法の模索				
事務局担当者の連絡先	担当者	(株)地域エネルギーイニ	氏名	山本 永
	所属	シアティブ		
	TEL	0266-72-6860	email	yamamoto@jlei.co.jp
ホームページ	(URL を記載)			
備考				

- ※1) 変更登録申請を行う場合は、変更箇所の下線を引いてください。
- ※2) 記入欄が不足する場合は、必要に応じて適宜広げて記載してください。
- ※3) 添付書類として、①組織規約・構成員名簿(市町村不要。)、②具体的な取組内容が分かる資料(スキーム・ホームページ掲載用の写真)、③その他参考資料を添付してください。

